

日本初、美をテーマにした投資信託

ワールド・ビューティー・オープン

(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)

追加型投信/内外/株式

World
BEAUTY

美の追求

という投資テーマには、

1. **安定性** ... 美しくなりたいという普遍的な欲求、景気に左右されにくい需要
 2. **成長性** ... 新興国の経済成長、男性向け商品の多様化による市場拡大
 3. **イノベーション** ... アンチエイジングなどの新市場、他業種からの参入
- という3つの柱からなる、中長期的な成長シナリオがあります。

2007年
3,020
億米ドル

2007~2021年の過去14年間で、世界のビューティー市場は約1.8倍に

ビューティー市場の牽引が期待される 3つのビューティーニュース



ビューティー市場にZ世代が台頭

これからの消費を担っていくZ世代の動向に着目しています。デジタルネイティブで環境志向が強いなどの特徴を持つZ世代の消費行動を捉えるには、これまでとは少し違ったアプローチが求められます。近年、勢いのある新興企業も台頭してきており、目が離せません。

運用担当者の着目点

たとえばこんな銘柄

当ファンドの組入状況

e.l.f.ビューティー

SNSを通じた巧みなマーケティング、環境を意識した商品特性、格安価格によって、米国のZ世代から支持を得ている化粧品メーカーです。主力であるカラーコスメに加え、スキンケア商品も積極展開しており、更なる業績拡大が期待されます。

当ファンドでは、2022年11月に同銘柄を新規に組み入れました。



変化するフレグランス需要

コロナ禍を経て、ギフト用から自分用へとフレグランスの需要に変化が見られ、売上高はコロナ前の水準を上回っています。場面に応じて香りを変えるなど、使い方の幅も広がりました。欧州に比べてこれまで使用率の低かった米国、また若い世代や男性などの需要も増えており、伸びしろも大きく今後の成長を期待しています。

コティ

祖業がフレグランスであるコティは、売上高の約6割をフレグランス商品が占めています(2022年6月時点)。グッチやクロエなど高級ブランドのフレグランスを手掛けるなど、フレグランス市場の構造的な成長の恩恵を受ける銘柄の1つとして期待しています。

当ファンドでは、2022年12月に同銘柄の組入比率を引き上げました。



新興国の成長と海南島の免税モール

所得が増えるとビューティー消費額が増えると考え、新興国の成長ポテンシャルは見逃せません。中国の海南島は、中国人が国内で免税ショッピングを楽しめるスポットとして人気です。2022年には新たな大型免税店もオープンし賑わいを見せています。免税販売額の上位化粧品がランクインしており、注目しています。

エステローダー

世界的な有名ブランドを数多く揃え、特にプレステージと言われる高級化粧品に強みを持つ米国の化粧品メーカー。同社は、早くから海南島へ進出し、海南島で存在感の高い化粧品メーカーの1つとして認知されており、今後も収益拡大が期待されます。

同銘柄は、2022年12月末時点で当ファンドの組入比率第1位の銘柄です。

2021年
5,291
億米ドル

2020年
4,945
億米ドル

2026年
7,282
億米ドル

2022年~2026年の今後5年間で、年率6.6%の成長予想

2007 2009 2011 2013 2015 2017 2019 2021 2023 2025 (年)

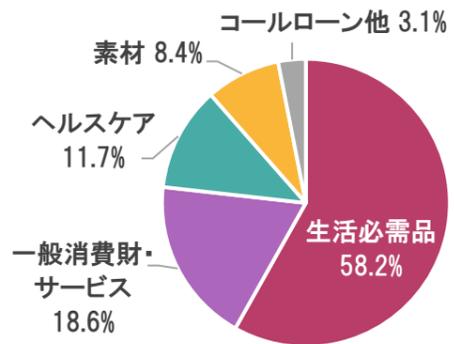
出所: ユーロモニター・インターナショナルのデータを基に三菱UFJ国際投信作成。期間: 2007年~2026年(2022年以降はEMI予測値)

・写真はイメージです。グラフは名目データを使用しています。また、ビューティー市場には、主に、スキンケア、ヘアケア、カラーコスメ、フレグランス、オーラルケアなどが含まれます。・上記は、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)において上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

※本資料は「ワールド・ビューティー・オープン」の概略を記載したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご確認ください。

《組入業種》 (2022年12月30日時点)



《組入上位10銘柄》 (2022年12月30日時点)

銘柄	国・地域	業種	比率
1 エステイローダー	アメリカ	生活必需品	8.1%
2 ロリアル	フランス	生活必需品	8.0%
3 LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン	フランス	一般消費財・サービス	7.5%
4 プロクター・アンド・ギャンブル(P&G)	アメリカ	生活必需品	6.5%
5 コルゲート・パルモリーブ	アメリカ	生活必需品	5.6%
6 アルタ・ビューティ	アメリカ	一般消費財・サービス	5.4%
7 ユニリーバ	イギリス	生活必需品	5.1%
8 ファンケル	日本	生活必需品	4.5%
9 アプターグループ	アメリカ	素材	4.4%
10 資生堂	日本	生活必需品	4.1%

・上記は、「ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)」の組入状況です。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・国・地域は原則、法人登録地で分類しています。

《設定来のパフォーマンス推移》 (期間:2017年7月31日(設定日)~2022年12月30日)



【ご参考】業種別指数のパフォーマンス推移

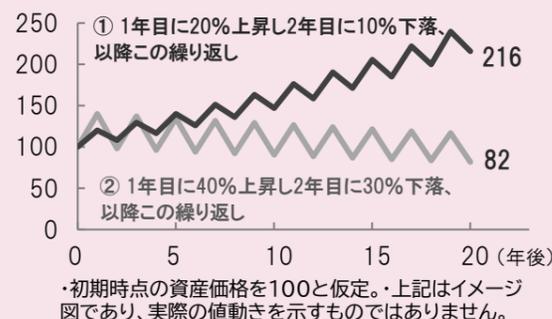
(期間:2000年7月31日~2022年12月30日)



- 当ファンドの組入銘柄が属する業種は長期的にリターンを積み上げてきました。
- 当ファンドが投資するビューティー・ビジネス関連企業が提供する商品やサービスは、**普遍的な欲求に基づくため景気に左右されにくい傾向**にあります。

■ 景気に左右されにくい銘柄は、長期投資に向く傾向

一般的に、景気に左右されにくい銘柄は長期投資に向いていると考えられます。上昇率がそれほど高くなくても、下落率が低く下値抵抗があることで長期的にリターンが期待されるためです。右グラフは、年平均上昇率5%で価格変動の異なる2つのパターンのシミュレーションです。相対的に価格変動が小さい①が大きい②よりも長期でみると高いパフォーマンスとなりました。これは一度大きく下落してしまうと、下落分を取り戻すことが困難なことを示しています。



・当ファンドは、上記業種に属する銘柄全てを投資対象とするものではありません。一般的に「一般消費財・サービス」「素材」は景気に左右されやすい傾向、「生活必需品」「ヘルスケア」は景気に左右されにくい傾向を持つと言われています。・上記は、MSCI ワールド・インデックス(現地通貨ベース、配当込み)の業種別指数を使用しています。MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的 日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

特色1 日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式を主要投資対象とします。

・当ファンドにおいて、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、「人の美しさ」の向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。・実際の運用はワールド・ビューティー・マザーファンドを通じて行います。

特色2 株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。・投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行います。

特色3 為替ヘッジの有無により、(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし)が選択できます。

・(為替ヘッジあり)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他通貨による代替ヘッジを行う場合があります。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。・(為替ヘッジなし)は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。

特色4 年2回の決算時(6・12月の各9日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000円当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因: 基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。**主な変動要因は、価格変動リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。**上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。**くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料に関するご注意事項等

■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30%(税抜 3.00%)	販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。
換金時	信託財産留保額	ありません。	

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して、 年率1.8040%(税抜 年率1.6400%) をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についても各ファンドが負担します。 ・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

設定・運用は

販売会社は右記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。



三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間/営業日 9:00~17:00)

●ホームページアドレス: <https://www.am.mufig.jp/>